

## 緑風

飄

々

広報委員

渡邊 恵幸

梅雨の合間の平成 30 年 6 月 24 日の早朝に家内とともに大分県臼杵市に出発した。空は雲が多かったが出発後には時々、日がさしてくれた。恩師の北里大学名誉教授の岡部治弥 先生が亡くなられて 1 年が経つ。医局主催のお別れの会に出席できなかったので、先生の故郷の臼杵市にお墓参りに出かけた。九州自動車道とは異なり車数も少なく、朝、早いため快適なドライブであった。田舎の雰囲気を多く残した風景を楽しみながら南下した。わが家を出発して 3 時間で臼杵市に到着した。ナビでお寺を探し誘導してもらったが、なかなか到着できず、ようやくたどり着いた感であった。お寺は静かで伝統を感じさせ静寂な佇まいであった。お祈りを捧げ今までのご恩に感謝を捧げた。

近くに国宝の石仏があるとのことで帰りに立ち寄った。有名であるらしく、多くの観光客が訪れていた。静かで新緑が大変美しい中に、巨大な石仏が彫られていた。お参りしながら、恩師も幼少時に着物姿でお参りされ、近くの山や川で遊ばれたのだろうと想像すると目頭が熱くなった。

レジデント時代の症例検討会の際、恩師が「診断することはシャーロック・ホームズの推理小説と同じだ」と言われた。一つ一つの証拠を固め犯人を検挙していくが如くに私達はいろいろな症状、検査成績から診断名を確定していくのだとお話された。このお話は他の会報に書いたことがある。元々、推理小説が好きだった私は輪をかけて好きになった。勤務医は当直が義務になる。卒

後研修の武蔵野赤十字病院での当直も大変であった。就職した山口赤十字病院も、夜も患者さんを診てくれるということで夜間も忙しかった。二次病院になってからは、さらに忙しくなった。睡眠をとることができれば僥倖であった。どうせ寝れないのなら本でも読むかということで、当直日には推理小説か時代劇小説の文庫本がお供した。寝ながら読むには、ぶ厚い本は向いていない。推理小説であれ時代劇小説であれ、読後に幸せ感や爽やか感があるとその作家はベストセラーの作家になれるようだ。さらに、人の情が冬空に輝く星のようにきらきらと書きこまれているともう間違いない。時代劇小説では佐伯泰英 氏の時代劇小説の第一作目の「密命 見参! 寒月霞斬り」、推理小説では先日亡くなられた内田康夫 氏の「死者の木霊」がそうであった。二作とも書店でばらばらとめくりプロローグの部を読むと、面白いという予感が湧いてきた。早速、購入し読んでいくと期待にたがわなことがわかった。その後のお二人の活躍は素晴らしいものである。

推理小説は、読みながら犯人を捜していくのが楽しい。それに比較して時代劇小説は人情の機微を読み取ることに、それがいかに表現されているかを確かめることが私にとっては楽しみである。

今までに読んだ作家の中で印象に残っている方々は、前述のお二人以外で推理小説では高木彬光、松本清張、西村京太郎、森村誠一、小杉健治、佐々木 譲、堂場舜一の諸氏である。時代劇小説は池波正太郎、藤沢周平、鳥羽 亮（最近は少し

マンネリの感)、小杉健治、岡本さとる(テレビの水戸黄門の脚本家)、最近では辻堂 魁氏である。現在、辻堂氏はまさにベストセラー作家の階段を駆け上っておられる。池波氏は人情にあふれた作品で豪快な剣戟シーンの中に人の優しさ、弱さがしっとりと描かれている。藤沢氏は研ぎ澄まされた文章が大事に書かれており、無駄のない清々しい文章である。

最近の本探しは、新聞の広告からあたりをつけ、書店で最初の部分を読んでみる。面白そうであれば、購入するパターンである。

このような文章を書いていると、天国から「君は専門書も読んでいるのか」という恩師の声が聞こえてきそう。医師は一生、勉強だといわれる。最近はずいぶん小さい字が見えない。さらに眼底にも年齢的な変化が現れてきた。困ったものである。それでも、月刊誌の購入と医学専門書店さんが月に1回、新刊の本を持ってこられる。興味ある本を購入している。

山口市には医学専門書店がない。そのため上京した折には、東京駅の近くにある「丸善」にて書籍と文房具をみてまわる。ついでながら、上京する際は新幹線を利用することが多いが、その際には文庫本1冊を鞆に入れていく。途中、振動の心地よさに居眠りをし、目が覚めている時は読書である。

お墓参りの時は木々の緑色が濃い緑に変化していた。淡い時を含め緑色は人の心を癒してくれる。この次は蓮華の花咲く4月か錦秋の秋に訪問しようと心に決め、リフレッシュした気持ちで、緑の風が心地よく吹きぬける豊後の国を後にした。

### 死体検案数掲載について

| 山口県警察管内発生 of 死体検案数 |    |     |    |     |     |    |     |     |
|--------------------|----|-----|----|-----|-----|----|-----|-----|
|                    | 自殺 | 病死  | 他殺 | 他過失 | 自過失 | 災害 | その他 | 合計  |
| Jul-18             | 18 | 125 | 0  | 0   | 6   | 3  | 15  | 167 |

死体検案数と死亡種別 (平成 30 年 7 月分)

